

■ 地方創生推進交付金 KPI達成状況一覧

資料3-2

(1)平成29年度採択分

(単位:円)

事業名	事業概要	実績額	KPI	目標年月	実績	達成状況
1 ブランド戦略推進による一次産業の振興	伊勢志摩サミットで三重県の農林水産物が使用されたことにより、その知名度や評価が高まっている。この絶好の機会を活用し、東京オリンピック・パラリンピックで求められている食材等調達基準への適合や、海外展開に向けた国際的な取引等に対応できるよう県産農林水産物の品質を向上させる。あわせて、他地域と差別化するブランド戦略を推進しながら、認知度向上のためのプロモーションに取り組むことで、首都圏や海外に向けて戦略的な販売促進に取り組み、産地の供給体制の整備を促進し、「もうかる農林水産業」の実現を図る。	6,747,227	農業産出等額【千円】: 500,000	R2.3	農業産出等額【千円】: △600,000	×
			県産材(スギ・ヒノキ)素材生産量【千m3】:20	R2.3	県産材(スギ・ヒノキ)素材生産量【千m3】:13	×
2 世界遺産・地域産業を活用した観光DMO推進事業【東紀州5市町との広域連携事業】	自然豊かな観光資源が豊富な魅力ある東紀州地域へ、国内はもとより外国人観光客を誘客し、特産品の購買等この地域での消費の仕組みを構築推進するため、共通のコンセプトのもと観光客のニーズ分析に基づいたマーケティングと地域の関係団体との連携を担うDMOの立ち上げをめざす。あわせて、DMOにより企画販売した商品等の受け皿を5市町が担って行くことをめざす。そして、その目的のために、訪日外国人旅行者向けの母国での情報発信、訪日外国人旅行者の受入環境整備や、東紀州5市町三重県官民協同による海外セールスを積極的に行い、この地域への誘客に繋げていく。	1,327,000	東紀州地域における観光消費額【百万円】:100	R2.3	東紀州地域における観光消費額【百万円】:△2,769	×
			地域別観光入込客数【千人】:50	R2.3	地域別観光入込客数【千人】: △41	×
			伊勢志摩・東紀州立ち寄り率・伊勢志摩→東紀州【ヶ所】:0.20	R2.3	伊勢志摩・東紀州立ち寄り率・伊勢志摩→東紀州【ヶ所】: △1.3	×
3 プロフェッショナル人材戦略拠点事業	企業の経営革新等の実現を促すプロフェッショナル人材戦略拠点を設置し、成長戦略や人材戦略への関心を喚起する企業相談等の活動を展開しつつ、地域企業の成長戦略実現の意識喚起とプロフェッショナル人材のUIターン市場の拡大を図る。	2,499,998	プロフェッショナル人材戦略拠点が行う相談件数【件】:140	R2.3	プロフェッショナル人材戦略拠点が行う相談件数【件】:162	○
			プロフェッショナル人材戦略拠点と企業のマッチング(成約件数)【件】:10	R2.3	プロフェッショナル人材戦略拠点と企業のマッチング(成約件数)【件】:38	○

(2) 令和元年度採択分

(単位:円)

事業名	事業概要	実績額	KPI	目標年月	実績	達成状況
4 県外の若者と地域の「思い」をつなぐきっかけづくり事業	<p>1. 地域の「思い」の掘り起こし・集約、仕組みの構築、相談等によるマッチング個人等が所有する施設や設備、事業を引き継ぎたいなどの地域の「思い」を掘り起こして集約するとともに、それを活用したい、引き継ぎたいという若者等とマッチングする仕組みを構築し、専門的な相談窓口において、的確にマッチングを行う。また、移住者にとって魅力的な地域となるよう、若者が活躍できる持続可能な地域コミュニティづくりに取り組む。</p> <p>2. 首都圏等の若者に対する情報発信やニーズの掘り起こし、相談、提案による現地への誘導 首都圏等においてU・Iターンを潜在的に希望する若者のニーズを掘り起こすため、実際に地域活性化に取り組む若者をロールモデルとして発信するなどにより三重での暮らし方や働き方の魅力をPRする。また、そのニーズに応じたきめ細かな相談を行い、本事業で集約した情報等を提供することなどにより、地域との関わりを深める橋渡しをし、現地への人の流れをつくる。</p>	25,009,515	マッチング件数【件】:50	R2.3	マッチング件数【件】:28	×
			県及び市町の施策を利用した県外からの移住者数【人数】:60	R2.3	県及び市町の施策を利用した県外からの移住者数【人数】:61	○
5 新たな未来を切り拓くみえスマート農林水産業の推進	<p>若者が魅力を感じる働きやすい農林水産業の実現に向けて、リーディングプロジェクトを実施中の伊賀米、伊勢茶をはじめ、輸出拡大をめざす柑橘や、真珠・魚類養殖などの産地において、「生産技術の見える化」や「作業の自動化・効率化」など、生産性向上や働き方改革につながるICT等を活用したスマート化の推進に取り組む。</p> <p>【農業】 ・伊賀米および伊勢茶でリーディングプロジェクトを実施すること等を通じて、労働環境改善、技術習得の円滑化、生産性や所得の向上などにつながるスマート農業の取組を促進する。 ・自動化技術(施肥、摘果、収穫)の検討、技術導入のためのモデル柑橘園地の再整備を通じて、県南部の柑橘産地におけるスマート農業の導入を進め、労働時間や生産コストの削減、柑橘の品質向上等に取り組む。</p> <p>【漁業】 ・AI・ICTを活用して養殖魚(マダイ等)の給餌・遊泳行動パターンを解析することで、小規模経営体が導入可能な完全自動給餌システム及び疾病早期発見システムを開発し、普及を図ることで、養殖業作業の効率化や県内における計画的な生産体制の構築などに取り組む。 ・高度な技術と経験が必要な真珠養殖業について、優秀な養殖業者の養殖技術の見える化やICT等を活用した環境予測技術の開発・導入など、優良技術の継承や真珠の生産性の向上のための技術開発とその普及に取り組む。 ・水産資源の持続的・安定的な利用のため、アワビやイセエビなど本県の重要な沿岸資源について科学的根拠に基づく精度の高い資源評価を実施し、資源の水準や漁獲の状況を詳細に把握するとともに、水産分野の専門家等で構成する資源評価委員会の意見をふまえ、県内各地区の漁業者が取り組む資源管理計画をブラッシュアップし、効果的な資源管理につなげる。また、資源管理による持続可能性をアピールしながら三重県産水産物のブランド価値を高める取組を進める。</p>	12,649,000	農業産出等額【億円】:5	R2.3	農業産出等額【億円】:△6	×
			漁業者1人あたり漁業生産額【万円】:22	R2.3	漁業者1人あたり漁業生産額【万円】:△29	×
			伊賀米品質目標を満たす生産者の割合【%】:2	R2.3	伊賀米品質目標を満たす生産者の割合【%】:△20	×
			真珠の生産性向上に有効なリアルタイム水温データ計測システムを現場実装した経営体の割合【%】:20	R2.3	真珠の生産性向上に有効なリアルタイム水温データ計測システムを現場実装した経営体の割合【%】20.8	○

事業名	事業概要	実績額	KPI	目標年月	実績	達成状況
6 三重ファン倍増に向けた戦略的観光マーケティング事業	<p>1. データに基づくマーケティングの基盤づくり 訪日外国人旅行者やトレンドをリードする新たなターゲット“ミレニアル世代”を囲い込むため、ニーズにあった観光コンテンツやサービスの情報を動画などの形で効果的に提供し続けるとともに、発地・着地双方で、顧客及び見込(新規)顧客情報を蓄積・管理し、その情報を分析・可視化することで、迅速な観光マーケティング活動につなげるPDCAサイクルを確立し、より戦略的に観光コンテンツ開発やサービスの提供を可能とする、三重県版観光CRM(顧客関係管理)導入に向けて取り組んでいく。</p> <p>2. 魅力的な旅行商品の創成と滞在型交流の促進 2020年東京オリンピック・パラリンピックから2021年三重とこわか国体へと続くスポーツ大会を契機に三重の自然を生かした“する”スポーツツーリズムの拡大を図るとともに、農林水産業の現場や仕事そのものを「コト」体験とするなど、リアリティとオリジナリティを兼ね備えた体験プログラムや、三重の農山漁村で「食べる」「泊まる」といった魅力を組み合わせ、より滞在時間の長い交流の機会創出に取り組む。また、「滞在型交流」に取り組む地域と支援企業との連携強化に取り組む。</p> <p>3. 広域連携による集客 三重県単独での認知度不足、発信力不足を補うため、愛知県、岐阜県等と連携し、魅力はあるものの海外からはまだあまり知られていない地域(東紀州、東美濃、奥三河等)を対象に、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、海外に向けて情報発信等を行い、空港や新幹線の駅がない三重県へのインバウンド誘客につなげる。 また、三県にまたがる世界遺産熊野古道を核としたインバウンドの誘客に向け、広域的な情報発信を行うとともに、近隣の和歌山県などから東紀州地域へインバウンドを周遊させることを目指す。</p>	28,955,060	観光消費額【億円】:50	R2.3	観光消費額【億円】:226	○
			県内の外国人延べ宿泊者数【万人】:5	R2.3	県内の外国人延べ宿泊者数【万人】:4	×
			農山漁村の交流人口【万人】:2.7	R2.3	農山漁村の交流人口【万人】:2.7	○
			三重県版観光CRM(顧客関係管理)に蓄積された優良顧客(三重ファン)データ数【万件】:1	R2.3	三重県版観光CRM(顧客関係管理)に蓄積された優良顧客(三重ファン)データ数【万件】:1	○

事業名	事業概要	実績額	KPI	目標年月	実績	達成状況
7 地域魅力発見・課題解決等による人づくりを通じた地域活性化事業	<p>若者が県内に定着し、一人ひとりが地域で輝き、地域から求められる「人づくり」を図るため、郷土への愛着心を育む取組を進めるとともに、地域を学び場とした地域課題解決型のこれまでにない新たなキャリア教育を展開する。</p> <p>○地域課題解決型キャリア教育検討委員会、PBL(課題解決学習)集会、学校別活性化協議会の実施</p> <p>○効果的な事業推進のための体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民や職業人とより深く関わる学習活動を実施するために、地域と学校をつなぐ人材の配置や専門スキルやノウハウを持った一般社団法人に委託し、初期の段階において地域と学校とをつなぐ「地域みらいコーディネーター」を置き、学校での推進体制を整備し効果的にスタートを切るとともに、取組を加速 <p>○パイロット校での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が自ら居住する地域の課題や産業を題材に「地域課題解決型キャリア教育」を展開する。 ・学校の実情に応じて、「課題解決型キャリア教育」に取り組む対象となる生徒(学年・系列等)、科目(「総合的な学習の時間」や学校設定科目、課外活動等)など、実施の枠組みを決定。地域資源を活用した第一次産業や地場産業をテーマとする場合は、より深く学ぶため、夏休み等を活用し、現場において一定期間の実践活動の機会を提供する。 <p>○取組の成果、PDCAサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット校での取組を県外の中학생や保護者に紹介する説明会に参加するとともに、成果や課題を「検討委員会」や「PBL集会」で共有、点検し、改善を図る。 <p>○小中学生向け地域の伝統文化体験、高校生によるツアー企画等郷土への愛着を育む取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に、地域のさまざまな達人を講師として招き、熊野古道やその周辺の自然・歴史・文化等を体験し、地域に古くから伝わる技術や生活に根ざした伝統文化などに触れる「体験塾」を開催し、その結果を子ども新聞として地域に発信する。 ・地元高校生が、熊野古道やその周辺の魅力を自らフィールドワークすることで発掘し、高校生及び外国人を対象に、地域をめぐるツアーを企画し、実施する。 <p>○医療現場を知ってもらう取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍する医師や女性医師、先輩看護師等との交流を行う「女性も男性も働きやすい」地域医療セミナーを実施 ・高校生や中学生に対して三重県の地域医療の魅力に触れてもらい、将来の進路を考える機会を提供するため地域医療の現場を見て、実際に働いている医師や看護師等と交流する「みえ地域医療体験セミナー」を実施 	8,988,055	<p>高校生の実践活動に係る地域活性化に資する取組数【事例】:10</p>	R2.3	<p>高校生の実践活動に係る地域活性化に資する取組数【事例】:10</p>	○
			<p>パイロット校において、「将来もこの地域に住み続けたいと思う。」と回答した生徒の割合【%】:2</p>	R2.3	<p>パイロット校において、「将来もこの地域に住み続けたいと思う。」と回答した生徒の割合【%】:△4.2</p>	×
			<p>三重大学医学部入学者に占める県内出身者割合【%】:1.6</p>	R2.3	<p>三重大学医学部入学者に占める県内出身者割合【%】:9.6</p>	○
			<p>熊野古道サポーターズクラブの子ども・若者(0~19歳)の会員数【人】:10</p>	R2.3	<p>熊野古道サポーターズクラブの子ども・若者(0~19歳)の会員数【人】:10</p>	○

	事業名	事業概要	実績額	KPI	目標年月	実績	達成状況
8	三重から始めるダイバーシティ社会推進プロジェクト事業	<p>選ばれる三重になるため、具体的には、①県のダイバーシティ社会推進方針の考え方の浸透と、LGBTをはじめとする多様な性のあり方への社会の理解促進 ②全国に先駆けた農林水産と福祉の連携の仕組みづくり(ダイバーシティ経営モデル)など、三重ならではの多様な社会づくりという、地方創生の新たな取組を進める。</p> <p>①の三重県のダイバーシティ社会推進の考え方の浸透等と、②の県におけるダイバーシティの具体的な仕組みづくり(ダイバーシティ経営モデル)は、車の両輪であり、この両軸で進めることで、相乗効果を生み、県のダイバーシティ社会づくりを加速させるものである。①の考え方の浸透が、②の具体的な仕組みづくりを促進し、また②の具体的な取組が進むことで、さまざまな産業・地域づくり分野にも横展開を図るロールモデルにもなり、県内におけるダイバーシティの視点からの地域・企業経営の推進、ダイバーシティ社会のさらなる推進につながる。ダイバーシティ先進地になることで、若者をはじめとする多様な人材の確保と定着を実現する。</p>	5,913,900	農林水産業と福祉との連携取組数【件】:9	R2.3	農林水産業と福祉との連携取組数【件】:10	○
				農林水産業と福祉との新たな連携取組における就労者数【人】:43	R2.3	農林水産業と福祉との新たな連携取組における就労者数【人】:46	○
				ダイバーシティ認知度【%】:5	R2.3	ダイバーシティ認知度【%】:10.4	○
9	三重県移住・就業マッチング支援事業	<p>1 マッチング支援事業 県内中小企業等の人材確保を促進するため、新たに移住者(離転職者)向けに県内企業等の求人情報を掲載するマッチングサイトを構築するとともに、マッチングサイトが有効活用されるよう、県内企業等が情報発信力を強化する企業向けセミナーを開催するほか、関係機関や市町等と連携して当該サイトへの登録企業等の増加を図る。 マッチングサイト上には、「しごと」情報だけでなく、「社風」やその企業の持つ「強み」なども掲載するほか、「暮らし」に関する地域情報なども参照できるようにし、三重の魅力を発信する。</p> <p>2 移住支援事業 若者・子育て世代等の移住を促進するため、東京23区で一定期間在住または勤務していた者が、上記「1 マッチング支援事業」を活用して県内に就業・移住する場合、市町と連携して、移住にかかる費用を定額で補助する。</p>	4,500,000	本移住支援事業に基づく移住就業者数【人】:12	R2.3	本移住支援事業に基づく移住就業者数【人】:0	×
				マッチングサイトに新たに掲載された求人数【件】:300	R2.3	マッチングサイトに新たに掲載された求人数【件】:255	×